

<対策のポイント>

国が策定する生産から販売・輸出に至る総合戦略に基づき、国内外の需要を見据えた養殖業の成長産業化を実現するための関係者の取組への支援や、低コスト・高効率飼料等の開発など、養殖生産の三要素である餌、種苗、漁場に関するボトルネックの克服等に向けた技術開発・調査を実施。

<事業目標>

主な栽培漁業対象魚種及び養殖業等の生産量の増加（1,713千トン〔平成22年度〕→1,739千トン〔令和4年度まで〕）

<事業の内容>

1. 戦略的養殖品目総合推進事業

養殖業の成長産業化の実現に向けた協議会等の開催、日本真珠の競争力強化のための協議会開催や錦鯉養殖業の振興等の取組を支援します。

2. 養殖業成長産業化技術開発事業

① 生産コストの削減を図るために、養殖対象種の消化生理に基づいた低価格・高効率飼料の開発、魚粉代替原料の生産技術の開発等を行います。

② 市場で高い評価を受ける養殖対象種の生産性向上に必要な種苗生産技術の高度化や優良系統の作出等を行います。

3. 養殖業成長産業化調査事業

養殖業の成長産業化に資するよう、陸上養殖の実態を調査・分析を行います。

<事業イメージ>

戦略的養殖品目総合推進事業【補助事業】

- 総合戦略の実行に向けた協議会等の開催
- 日本真珠の競争力強化のための協議会開催
- 錦鯉の品種や特徴の規格化・情報発信等を支援

◇協議会の開催

養殖業成長産業化技術開発事業【委託事業】

飼餌料コスト低減対策

- 養殖対象種の消化生理に基づく低価格・高効率飼料開発
- 魚粉代替原料（水素細菌）を活用した飼料開発

優良種苗開発等養殖生産高度化対策

- 優良系統の作出（サケ・マス類等）
- 人工種苗安定生産体制構築（カンパチ）
- 地球温暖化に適応した品種・食害対策手法の開発（ノリ）

◇人工消化系による飼料原料の評価手法開発

消化管

in vitro（試験管内）で消化試験

飼料原料

◇水素細菌の養殖飼料としての利用技術の開発

水素細菌

◇優良系統の作出・人工種苗生産技術の高度化

トラウトサーモン

カンパチ

ノリ

養殖業の成長産業化

<事業の流れ>

国

定額

民間団体等（1の事業）

委託

民間団体等（2、3の事業）

養殖業成長産業化調査事業【委託事業】

- 陸上養殖魚種の市場規模等の調査・分析

陸上養殖魚種の市場規模の現状と発展性